

カオナビの健康経営の取組

当社は「はたらく」にテクノロジーを実装し個の力から社会の仕様を変える」ことをパーパスに掲げています。

テクノロジーによって一人ひとりの個性や才能を理解することで、個人のキャリア形成や働き方が多様化される社会をつくっていききたいという想いを込めています。

これらの実現のために、人財を最重要な経営資源と捉え、社員の心身の健康維持・増進のため、様々な施策に取り組んでまいります。

課題の発見・取り組み

これまでに当社で実施した調査の結果、当社の従業員における3大健康課題として、運動不足の解消、喫煙率の削減、適正体重の維持が特定されました。それぞれの課題をもつ社員の割合を低減させるべく、様々な取り組みを実施しています。

現状把握・モニタリング

■ウェルネスレポート

健康診断結果およびレセプトデータをもとにウェルネスレポートを毎年集計しております。生活習慣病のリスク数値の集計を行い、リスク数値が高い場合は早めの対処をするように注意喚起を行っております。

なお、健康診断を受診すること自体が、健康状態を把握する前提であるため、受診率100%を目標値として設定しています。

■パルスサーベイ

自社製品カオナビのパルスサーベイ機能を利用し、毎月実施しております。

社員のコンディションデータを蓄積・長期保存を行い、その推移を見ながら相対的な健康状態とモチベーションを観察しています。数値が低い社員に対してはフォローアップの人事面談や産業医面談を推奨することで、不調の早期発見をしております。

■ストレスチェック

社員が自身の心の健康状態を確認し、かつ職場全体のストレス傾向を把握するために、毎年実施しております。ストレスチェックの結果は人事担当者と産業医が確認をし、必要に応じて産業医との面談を従業員に推奨しております。

2023年度の実施率は99.8%でした。

■1on1の実施

上司と部下が定期的に1on1を実施しております。定期的なコミュニケーション機会があることにより、メンタルヘルス対策の効果もあると考えております。

ウェルネスの向上



■Wakka

気軽に「部門を超えた人脈の“輪っか”を作る」というコンセプトのカオナビ社員のサークル活動をしています。フットサル・野球のようなスポーツに関連した活動があり、2024年9月時点で80名の社員が参加しております。

■ウォーキングイベント

歩数計アプリを利用したウォーキングイベントへの参加を社内に周知しています。スマホを持ち歩きながら、1日あたり8,000歩を目標にして、運動することを啓発しております。

■ラジオ体操

オンラインで毎朝ラジオ体操を有志で行っております。

■運動機能のあるゲームの設置

当社内に運動機能のあるゲームを設置しております。社員が業務の隙間時間に遊べる環境を用意し、運動不足の解消およびコミュニケーション促進の効果を期待しています。

勤務サポート

日常的に病気、不調にならないセーフティネットとして、さまざまな働き方を実現しています。

・ハイブリッド勤務

一人ひとりがベストな環境でパフォーマンスを発揮できるように、勤務場所は自分で選択することが可能です。

・スイッチワーク

一日の間に何度も勤務と退勤ボタンを押すことができ、勤務時間と休憩時間を柔軟に取れる施策により、通院などしやすい環境を整えております。

・スーパーフレックス

入社時刻と勤務時間(1日4時間以上)を自分で設定することができます。

・フレックス±20時間

月所定労働時間を±20時間の幅で調整ができます。給与が減ることなく月20時間まで労働時間を短くできます。

オフィス環境サポート

・休憩室

就業時間中に体調不良の際、一時的に休養する場所として男女別に設置しております。

・昇降テーブル

執務室内に昇降テーブルを設置しております。座りっぱなしの環境を変えることができ、集中力アップや運動不足の解消の効果を期待しています。